

きずな



新浦安
分会
No.39

2022
2・6

発行責任者
坂本暢雄
編集・教宣

分会大会開催

1月20日地本より加藤委員長・石井運協議長と田名部さん出席のもと分会大会を開催しました。合理化は新型コロナウイルスに便乗し、より一層のスピードアップが図られています。

【発言内容】 ○タブレット

トの教育が十分とは言えないままペーパーレス化が進み、社員代表の情報発信すらタブレットからとなつていく。操作が苦手な社員のことを考えていない。
○体調不良の年休取得の強制はあり得ない。



○ステーションブース設置に際して事業課からは説明らしい説明はなく「駅には迷惑をかけた」と言いながら運用の説明資料には「軽微な汚れは駅にお願いを・・・」とあり矛盾している。遠隔化による窓口閉鎖や要員削減

2021年度新浦安分会体制

執行委員長 坂本 暢雄
(市川塩浜)

(市川塩浜)

執行副委員長 高橋 利之
(二俣新町)

(二俣新町)

書記長 佐川 正則
(千葉みなと)

(千葉みなと)

執行委員 佐藤 達由
(潮見)

(潮見)

執行委員 高橋 弘幸
(稲毛海岸班・教宣)

(稲毛海岸班・教宣) (南船橋)

が進む最中に駅の事情を全く考えずに負担だけを押し付けてくる。

○市川塩浜・二俣新町は要員削減によりC日勤(8時〜20時)が外され1徹のみとなりプレッシャーを感じる。券売機類の締切は窓口を閉め、その間の対応は支店による遠隔作業になるが時間内に終わらなければ支店は延長しないため窓口を開けながらの締切作業となる。何かあっても一人

執行委員 太田 久市
(潮見)

(財政) (潮見)

会計監 北浦 幹司
(潮見)

(潮見)

丸山 清二
(千葉みなと)

(千葉みなと)

高木 芳明
(市川塩浜)

山崎 晃
(千葉みなと)

吉原 清弥
(千葉みなと)

関 富雄
(CTS南船橋事業所)

で対応するしかなく不安が募る。

○南船橋は2徹1Cから2徹となり業務の負担増とともに新人配属駅でもあるため教育に懸念が残る。2人体制ではほとんどの時間が一人での窓口対応となり、乗換え駅でもあるため他の駅とは違うスキルの求められ「育てる」ためには先輩社員が手の届く環境でなければならぬなどの発言がありました。

今後の情勢は厳しさを増すばかりですが社員の声・現場の声を発信、共有し行動を起こすためにも社員のための社員代表を勝ち取ることが大事であることを確認し分会大会を終えました。昨年に引き続き新年会を兼ねた飲み会は中止をせざるを得ず散会となりました。

千葉地本
HP 開設!

